



代田・九条の会News

第 7 号

2009/06/14

発行・編集
代田・九条の会
小澤 清子
菊池 政枝
伊東 宏

生かそう憲法！今こそ9条を！世田谷の会 第5回総会（5月27日）に参加して

第一部・記念講演で、湯浅誠氏が“貧困も戦争もない社会へ”と題して話をしてくださいました。「主に、憲法 25 条の問題になりますが」と前置きした上で、90年代から、労働者が正規から非正規へと置き換えられ、非正規で働く人が増えてきた。今、親の格差が子どもの教育の格差になり、社会に出てからも、それが固定していき、雇用保険、生活保護などのセーフティネットからも外されていくというすべり台社会の現実を、派遣村の活動から具体的な例を出して、わかりやすく話してくださいました。

印象に残ったことは、貧困の問題が社会に認知されてきたが、貧困におちいった原因を、その人個人の問題（仕事を選んでいるから、努力が足りないから、なまけていたから、能力がないから、等々）にしてしまうのではなく、“社会の問題としてとらえる”ということです。

また、正規と同じことをしているのに、非正規はずっと給料が低いのだから、正規はもっと働いて当たり前、もらいすぎだ、非正規で働いている人より生活保護費が高いのはおかしい、などの論調のこわさです。正規の労働条件を悪くしていくと、結局は全体が低く抑えられていくことになります。

今、若い労働者の半分以上が非正規という中で、20年後の日本はどうなっているのか、一人ひとりが真剣に考え行動するときだと強く感じました。

萱野 幸子（代田4丁目在住）

九条の会講演会 ―加藤周一さんの志を受けついで― に参加して

6月2日（火）、日比谷公会堂には、収容能力いっぱいの2千人余の参加者が、9条を守るための活動に力を得ようと集まりました。9人の呼びかけ人の中から、加藤周一さんは大スクリーンの映像の中で、また井上ひさし、大江健三郎、奥平康弘、澤地久枝の各氏、また加藤周一さんの夫人の矢島翠さんは演台から、明快に、戦争はしてはいけないとお話になりました。

改憲の是非を問う国民投票は、もう来年の5月からおこなえることに決まっていますね。遅まきながら、私も戦争放棄を謳った憲法9条を守ることの大事さを、積極的に人に伝えて行かねばと、身にしみて感じました。試しに息子に言ってみました。彼は本気か母親をからかったのか、日本も少しでも核をもたないと核保有国との交渉力を持っていないなどと申します。私も早く説得力のある話し方ができるようにならないといけないと、今夜も成城9条の会の主催する講演会「緊急学習会 海賊対処派兵法と北朝鮮問題」に勉強に行ってきました。日比谷公会堂で手渡されたちらしを見て、行ってきたのです。

全国7、400の9条の会ができていくということですが、周りを見ると、9条の会のこと知っている方は無いに等しいです。私たち一人一人が若い方たちに伝えて、投票場に行って改憲に反対票を投じてもらおうとまでしないといけませんね。

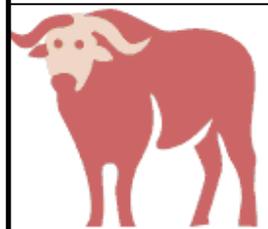
南 八枝子（代田3丁目在住）

総務省発行のリーフレット

「ご存知ですか？ 平成22年5月18日から「憲法改正国民投票法」が施行されます。」

上の標題のリーフレットが、区役所、支所、区民センターなどにおかれています。この法律は、一昨年、国会で成立したのですが、3年間の“周知”期間が設定され、来年の5月から施行されることとなります。延長された国会の中では、「憲法審査会」の活動開始に向けての動きも出てきており、少しさめかけた“憲法改悪”への動きが再度、強まろうとしています。今度の衆議院選挙で、「憲法を守れ」の声を大きく増やし、この状況を変えて行こうではありませんか。

伊東



～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++

戦時中・戦後の体験で思うこと (2)

野間 正雄 (代田1丁目在住)

(承前) 北海道日高への家族疎開は縁故者が誰一人いない旅だった。1945年3月のことだった。

① 鷲塚鷲太郎のこと

疎開した町で出会った、鷲塚鷲太郎は、17世紀の英雄シャクシャインの流れを継ぐアイヌの長老でした。1945年8月10日頃、日高本線(苫小牧～様似・単線)中間拠点駅・静内駅を米軍が空襲した。駅舎にいた数人の乗客が死傷した。グラマン戦闘機2機がシベチャリ川(静内川)沿いに上流まで低空飛行でやって来た。飛行兵の顔姿をこの目で見た人が何人もいた。私も見た。鷲塚鷲太郎が独言のように小声で言った。「この戦争は日本が負けて、もうじき終わる。」と。

② 連合軍最高司令部指令『日本教育制度ニ関スル管理政策』1945年10月22日

c項(1)「教科書、教師用参考書及教材ハ(中略)軍国主義的乃至極端ナル国家主義的イデオロギーヲ助長スル目的ヲ以テ作成セラレタル箇所ハ削除セラルベキコト。」この『指令』によって、私達の学校では、全部の生徒が担任教師の指導のもと一斉に、修身・日本歴史・地理の教科書を筆・墨で黒々と塗りつぶしていった。そして、これらの教科書は全て回収されました。

12月31日、これらの科目の授業は全て停止となりました。

『日本国憲法』1946年11月3日公布・翌年5月3日施行。

『教育基本法』・『学校教育法』1947年3月31日公布施行。

「国民学校令」など廃止。「六・三・三・四制」など規定。1947年4月1日新学制による小学校・新制中学校発足。

『あたらしい憲法のはなし』1947年8月2日、文部省。

(1)は、News6号に掲載。

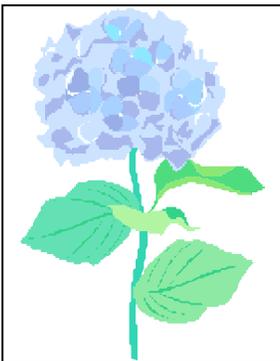
集 会 等 の 紹 介

7月4日(土)～14日(火) 14:00 と 19:00 開演 「コルチャック」
両国・シアターX(カイ) 一般5250円 (九条の会・会員割引4700円)
劇団俳優座 Tel 03-3405-4743、03-3470-2888
(電話で、所属の九条の会の名前を伝える)
劇団俳優座の創立65周年記念公演 原作は近藤二郎 近藤康子の「コルチャック先生」

8月3日(月) 19:00開演 女優たちによる朗読 夏の雲は忘れない 1945 ヒロシマ ナガサキ
—— 岩本多代 中村たつ 神保共子 高田敏江 柳川慶子 渡辺美佐子
世田谷区民会館ホール 前売り1800円(当日2200円)
実行委員会 Tel 03-3428-1234 Fax 03-3420-1554

8月15日(土) 2009平和のための戦争展 (第30回)
新宿・カタログハウス 及び スペースゼロ
14:00～ 記念講演 「憲法を私たちの力にするために - 8月15日に考える」
小森陽一さん(九条の会 事務局長)
16:00～ 国民学校一年生の会 イベント : 模擬授業
① 国民学校 初等科 音楽 「勝ち抜く僕等少国民」
② 新制中学校 社会科「あたらしい憲法のはなし」
代田九条の会で参加しようと思います。(詳しくは来月に)

11月3日(火・休日) 13:30開会 代田九条の会 一周年記念の集い
現在、詳細の計画を立案中です。



お願い：平和や憲法に関して感じていることや、戦争の体験などの原稿をお寄せください。

日本国憲法

- 第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない